

確認事項（案）

各国のアカデミーの機能や組織体制は国によって様々であるが、科学の進歩への寄与と科学の成果を通じた国民及び社会への貢献、政府への科学的助言をミッションとしている点は共通していると認識している。現在、日本学術会議に期待される役割・機能をより良く発揮できるようにするため、その独立性・自律性をさらに高める改革を、政府に設けられた有識者懇談会の下でのワーキンググループにおいて、日本学術会議の参加を得ながら検討しているところであり、今後の改革の参考とするため、貴アカデミーについて、以下の点について御見解をいただきたい。

1. 総論的事項

- ① アカデミーにとっては、活動の独立性・自律性の確保が何よりも重要であると考えている。一方で、多くのアカデミーでは、政府による財政的支援や、外部との共同研究、寄付金の受領等を行っていることから、政府や他の団体との適切な連携・関係性の維持にも配慮されているのではないかと思料している。
貴アカデミーにおかれては、活動の独立性・自律性を保持しつつ活動するために、どのように制度的な担保を講じているのか。また、制度面以外で留意したりしていることがあるか。
- ② 社会との連携や多様な構成員が所属する組織の運営のためには、活動の方向性の決定、適切な組織管理や財務管理等を行えるよう会長や執行部に一定の権限の付与が必要となると考えるが、具体的にどのような権限が与えられているか。また、執行部の構成員を選ぶ際には組織運営に必要なマネジメント能力をどのように確認しているか。
- ③ アカデミーにとって、活動の独立性・自律性は重要と考えるが、政府の資金や民間の寄付等を得て活動している中で、アカデミー自身が活動の適切性・合理性をどのように担保し、国民や社会に対する説明責任を果たしているか。

2. 会員選考

- ① 貴アカデミーは、日本学術会議と異なり、提言・助言のみならず、栄誉・顕彰及び助成機能も担っているという役割・機能の違いがあり、また、会員選考についても、6年の任期制を取っている日本学術会議とは異なり、会員の構成が直ちに大きく変わらないことを前提として行われていると承知しているが、その上で、科学の進歩と社会の変化を会員構成に反映させて

いく必要性をどのように考えているか。また、そのためにどのような工夫をしているか。

また、最終的に会員に求める資質としては、何を重視しているのか。候補者のそれぞれの専門分野における学問的業績に加えて、分野を超えてサイエンスについて議論できる能力も重視するのか。仮に重視するのであれば、どのような方法で確認するのか。

- ② 貴アカデミーにおいては、会員選考に当たって投票を行っているが、投票制を導入している意義は何か。また、投票結果を選考委員会での選考に当たってどのように活用しているか。投票結果をそのまま使うのか、それとも、投票結果以外の要素も考慮するのか。

一方で、投票制の下で、会員構成における専門分野や性別などの多様性の確保が図られるよう、何らかの工夫を行っているか。

3. 会長選考

- ① 貴アカデミーにおいて、会長には、アカデミーの活動の方向性の決定、組織のマネジメントや活動資金の確保などの役割が期待されていると考える。

会長には、それらの役割を果たすためにどのような能力が求められているか。また、それを担保するため、選考においてどのような確認のプロセスを経ているか。

4. 各国別

1～2問程度？